



液状化ではなく、
隆起したペトボー
2018年10月2日



腐臭が漂うパル市

インドネシア国バルの地獄

理事長 岩村 義雄

インドネシア国バルの地獄

理事長 岩村 義雄

うだる暑さのパルは水をはじめ食料品を購入するお店、宿泊するホテル、携帯を充電する場所なども全滅です。三日が使えません。電源がありますが、現代人の生活必需品はぜんぜん役に立ちません。夜になると手探りで行動することは北海道地震によるブラックアウトで洗礼済みでさほど驚きませんでした。しかし、道がなくなっていること、家屋、電柱、船が倒れかかっているため、懐中電灯なしには歩けません。地元の人たちは住み慣れた勘で行動されています。中東、ネパール、バヌア

まで自然災害の大惨事を見てきましたが、濃縮したように破壊の爪痕がまさに地獄絵図です。生活できないため脱出せざるを得ない避難民たちがいたるところで難民キャンプでの生活を余儀なくされています。なら水、食料、ガソリンを買う店もなにもかもなくなり、ライフラインは停止していました。学校、病院、公的機関なども閉鎖を余儀なくされしていました。



スラウェシ島はアルファベット K の形



右から二人目はインドネシア大統領ジョコ・ウィドド
[1961-] 大統領、左から二人目はブアンマハラニ文化・人間開発担当調整相（スカルノ・インドネシア初代大統領の孫）。

ツなどでも同様でした。激臭で辟易とするのは人間の死体です。犬、猫、動物などの腐臭とは比べものなりません。鼻からこめかみに突き上げる痛みを伴う異臭です。ちょうど食べ物がないからいいものの、食欲は当分遠ざかります。孤児のための児童施設をパルに建てるため、リンボキ家族が立ち上がられました。機構の理事会は10月25日、建設について当面パルの一か所だけを決議しました。日本からの救援金を必要としています。里親になりたいとご希望の方も「カヨ子基金」も機構にお申し込みください。毎月3千円の全額が届けられます。

株式会社 大塚製薬工場

〒772-8601
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115
TEL 088-685-1151(代表)

MIYOSHI
ミヨシ石鹼株式会社
〒130-0021

東京都墨田区緑3-8-12
TEL 03-3634-1341

想いをかたちに 未来へつなぐ
 **TAKENAKA**
竹中工務店

〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1

A decorative horizontal border featuring a repeating pattern of stylized trees with small flowers or leaves. The border is flanked by larger, more detailed tree-like shapes at the ends.

島全体の空気が他者の痛み、苦しみ、怒り、くやしさに「共感」する。日本列島が、ようやく、ようやく、復活してほしいのです。

北海道ボランティア募集中！



厚真町桜丘地区 2018年9月10日

北海道地震ボランティア

9月9日～12日 岩村 義雄

(2018年9月2日～9月12日)
シリアル人難民キャンプ
で地震を耳にしました。
2018年は自然災害の
い年です。6月の大阪北部
震、7月の神戸における集
豪雨、7月7日の西日本豪雨
8月の猛暑に続き、9月に
り、台風21号襲来、続いて
北海道大地震が起こりました。
日本が生き残るためにには、
骨太の価値観の変更が求め
れています。技術、経済、
需至上主義の方向からユ
ーチャンすべきです。2300億円もイージ
アショアのための予算を組むより、民のい
ち、暮らし、人権を守る国が望ましいでしょ
うか。
「田・山・湾の復活」です。里山・田園
里海を見直すべきではないでしょ
うか。
災害救助は自衛隊、社会福祉事務
会、ボ

02 2016.009.1社總行 2016.009.1社總行

The Kirisuto Shimbun **KiriShin**

“成長路線より民のいのち、暮らしを” 経済至上主義への警鐘

今間、日本の経済至上主義の息の根を止める情事が吉東を誘り動かしました。もう立長路線を追い求めることより、少し立ち止まって、此の半生、暮らし、人物を考えましょう」と仰がれるシグナチャであったのですからいかにも仰がれられます。

おはようございます。さくらの新井です。この度は、古町地区で非常事態開明門長と面識の浅い、激甚地の板長、吉町を訪問。板長の家、車、納屋など本当に迫力あります。吉町の山の反対斜面に位置する所有者、今冬板長さん（88歳）は現在、高齢で野菜を栽培しておられます。まだ生まされた地塊の掘削に心を留めておられます。原町吉町地区では、林内に築造された人の内山が土砂の下敷きになりました。道端開拓係は役場で障害をとること、一齊に吉町迫道に集結し、伐木を擰ることに専念しました。ですから、吉町迫道の板長、板長地区にある老舗たる手つかずの家は、写真には見当りません。行政が実施していない古い吉町地区以外に悲劇はたくさんあるのです。龍井・大分掘道の特名益城町ばかり報道され、少しでも離れた場所は記者たちがほとんど足を踏んでいませんでした。

桜丘選区でも中田一生さん（76歳）が亡くなられました。激動地ということで、西山市長が市長官邸と同様に、災害救援法によって満額300万円がもらえるかどうかは誰も分からず。しかし、300万円以下の算体費用、費用を算出し、再建せよ。あとは自己責任ではあまりにも無慈悲な仕打ちではありませんか。国が被災者の苦痛を

「共感」せず。オリンピック。リニア。大阪万博会などざいたくを追求する時ではありません。キリスト者がもつ福音とは。被災し、財産、家屋、而所有物を失った貧しい人々が対象です。【目の見えない人は見え。足の不自由な人は見え】(成程)成程。成程。成程。成程。

「重い成績簿を抱いていく人は泊めなり。耳の聞こえない人は聞こえぬ。死者は生き延び。貧しい人は福音を掛け知らされている」(マタイ11:5)。「貧しい人は福音を掛け知らされている」を「日本正教会歌」は「貧者は福音す」と翻訳している。

「悔恨」。つまり質しい人の中でこそ、「福音」が生きています。「見失った罪」「一匹の子羊」を大切にする神の恩寵を分かち合う日本に恵度することを願ふべきです。



31年ぶり、 ゼロから翻訳した新しい聖書

『聖書 聖書協会共同訳』 -2018年12月発行へ-

礼拝にふさわしい
聖書を目指して
www.bible.or.jp
日本聖書協会



創業明治30年 おかげさまで創業120年
神戸風月堂
URL <http://www.kobe-fugetsudo.co.jp>



「ヒューマニティ・ファスト」

アにはパン
ク、脱輪、通
行止めは日常
茶飯事です。
19日（水）早
朝に天日干し
を続行するこ
とになりまし
た。

第88次東北ボランティア 稲刈り

代表 村上 裕隆

オニヤンマが飛ぶ宮城県石巻市渡波の田んぼで7回目の稲刈りです。自然豊かなところに長浜幼稚園の年長組41名が、田んぼに来たとたん声を上げました。5月にトロトロ層づくり、田植えをした場所に見違えるほど立派な黄金色の稻穂が成長していたからです。稻刈りし、稻穂をわらでしばって束をつくります。つづいて、「稻架掛け」に天日干しをします。自然と一緒に遊んだ園児たちは楽しそうでした。



バヌアツ国ボートビーチ市でのタキア・ワレちゃん（Takifu Ware 6歳 2012年6月23日生）は心臓の病のため急速に衰弱。バヌアツには、心臓専門医が見つかりません。「力ヨ子基金」は募金活動を決定しました。アメリカの手術ができる病院に連れて行きます。滞在費、交通費、医療費を合わせると2億円を越えると予想されます。みなさまの応援をお願いします。

佐平が代表して、心配をかけたことを詫び、仲直りした姿を吉郎次に見せました。安心した吉郎次は、最後の力を振り絞って語りました。

「何とか故郷に帰りたい一心で、このたびの道中も、歯をくいしばつて皆の衆についてきました。思えば、口惜しいことです。この地で果てるのも私の運命だつたのでございましょう。私の魂は一足先にお国に帰りますが、皆の衆も体をいとい、必ず達者で故郷に帰つて下さい。そして、私が死ぬまで故郷の小竹浜を夢みていたことを、家族や浜の衆に伝えて下さい。仲間衆にもお世話になりました。御恩は決して忘れません。本当に有難うございました。」

彼は、望郷の念と帰れぬ無念さ、故郷の家族に伝えて欲しい心情を吐露した後は、言葉にならず只々泣くばかりでした。

寒さが一段と骨身にこたえる日の夕方、吉郎次は、ひつそりと息を引きとりました。その夜、残つた仲間は米で一膳飯を焼き小麦の粉で団子を作り、枯れ竹蓬で香らしいものをつくるなど、出来るだけ故郷のしきたりのようにして、枕元に供えたのでした。

一行の中での最年長者は、七十三歳になる水主頭の吉郎次でした。彼は、遭難と漂流、寒さの地での生活も、故郷に帰りたい一心で一行についてきました。しかし、彼は、寝床から起き上がれない程に弱つていました。

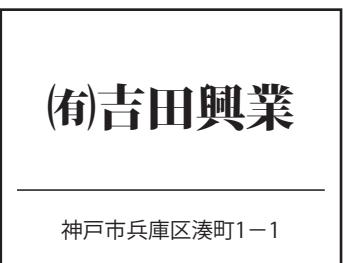
一七九九年三月のある日、彼は、「話しておきたいことがあるので、仲間全員を集めて欲しい」と津太夫に頼みました。そこで、これまで疎遠になつていた二つのグループ全員が吉郎次の枕元に集まりました。

自分の死期を悟つて吉郎次が悟つては、何者

プロフィール

初めて地球を一回りした日本人
石巻若宮丸物語(4)

阿部和夫





1) 「第一次西日本豪雨ボランティア報告」(岩村義雄 2018年7月15日) <http://kisokobe.sub.jp/article/1217/>



救援物資提供 伴真里奈さん
(東北ボランティア第22次)

講座などの案内

●本田哲郎セミナー

毎月第3金曜日 午前10時~正午
神戸市勤労会館 404号室
※12月のみ 12月14日(第2金曜日)
ですからご注意ください。

●聖書のことば

毎月最終月曜日 午後6時半~8時
ミント神戸17階 講師：岩村義雄
※12月のみ 12月17日(第3月曜日)
ですからご注意ください。

編集後記

5年目になる丹波水害ボランティアの炊き出しを担う神戸国際支縁機構の責任者として兵庫県市島町に訪問させていただきました。プロパン、コンロ、大鍋や、具材を持ち込んで「ひなたぼっこ」で、野外礼拝の後、鹿肉カレーの提供です。阪神・淡路大震災の時、若かった仏教青年会の方々も40代の住職であり、おいしい回転焼きを作つておられました。「宗教みたい」とスポーツのパワハラ騒動で言われるほど、日本は無宗教が当たり前ですけれど、宗教者の底力は災害時に「縁の下」の力を發揮すると思わせられました。

「カヨ子基金」支縁者 宮田佳典



丹波焼き出し 2018年10月21日

西日本豪雨ボランティア

事務局長 本田 寿久

奈良時代の日本を代表する学者吉備真備の出身地で、今年大きな被害が出ました。

【695-775】

「自分はだいじょうぶ」と考えるのは、若い人より、人生経験が豊かな人たちの方に多いようです。2011年、3月11日の東日本大震災の押し寄せる津波に対し、「チリの時だつて、だいじょうぶだったべ」と家族に言つて、逃げなかつた人たちもいます。今年、7月7日、妹尾笑美子さん(94歳)は岡山県倉敷市真備町箭田の新築の家に住まわれています。「大丈夫じやろ」と考え、自宅にとどまつておられました。29歳の同居のおいが屋根の上に押し上げて、消防士の救命ボートで助け出されました。51人が亡くなられた真備町の多くの方は60代以上でした。溺死が原因です。箭田地域は海の近くではありません。突如として6メートルを超える洪水が襲つたのです。500人以上が亡くなつた宮城県石巻市渡波の津波の場合、一階はもぬけの殻になるほど被害は激しかつたです。避難所にはゆとりはありませんでした。すき間だらけの2階で暖もなくがたがた過ごされた被災者をたくさん見かけました。

真備の地域でも人生経験が豊かな人たちほど、ご自分の知識、体験、地域の安全宣言から判断してしまうのです。

「超高耐久性コンクリート」と言えども、中性化、鉄筋の腐食、ひびわれ、強度劣化、表面劣化、漏水、部材の大たわみを免れることはできません。80年はもちません。一方、自然石、岩を用いた工法の耐久性を見直すべきです。砂防ダム完成で安心した犠牲者も少なくありませんでした。

防潮堤、山間部トンネル、ダムはいずれも人災をもたらすもろい材質によって作り上げられています。真備町の小田川決壊ばかりが報道されました。本流は高梁(旧成羽)川です。上流に成羽川ダムがあります。日本有数の水島工業地域の工場用水確保のために造られた貯水ダムです。7月7日の高梁川の増水、死者、流域の被害についてはあまり知らされてはいません。

神戸国際支縁機構は災害直後の7月8日から第二福田小学校で焼き出しをさせていただきました。10月末までに8回にわたり、東北ボランティアのこゝまででの参加者、松本真祐さん、土手ゆき子さんや、機構の支縁者岡本卓也氏、神戸市東遊園地(神戸市役所隣)の毎週の焼き出しで親しくなつた堀浩一さん、田村晋作さん、楠元翔子さんたちと連帶して、大島健二郎熊本支部長や機関の事務局のメンバーたちは、傾聴ボランティア、がれき撤去などに汗を流してきました。五百井正浩理事も現名です。一回に平均7名です。

【第一次西日本豪雨ボランティア報告】(岩村義雄 2018年7月15日) <http://kisokobe.sub.jp/article/1217/>

救援金、維持会費ご協力を感謝します。(敬称略)

2018年7月22日~10月20日

オオハタナオユキ(2)、植地優子、福音伝道教団本庄キリスト教会、神戸聖福教会(3)、上野清次郎、久留島琴(2)、オリーブの木キリスト教会、市川啓一、白瀬小一郎、石川満澄、石川久子、忠内一由(3)、忠内有紀(3)、廣瀬素子、水谷弥生(2)、尾間マコミ、辻良雄、住谷圭造、日本自由メソヂスト葛城キリスト教会、賀内覚太郎、森川甫、千田豊穂(宮城県石巻市光厳寺住職)、保田薰、祐田康庸、有隣会社吉田興業、吉田明、池永タケコ、酒巻美和子、柴田正生、菊池則子、酒井彰、酒井久美子、豊島睦子、河村ひとみ、張賢徳、谷合公江、櫻井由里子、中山圭子、高橋一正(3)、観音寺(三鷹市)、宮坂信章、村上安世(2)、栗原健、島内糸夫、藤丸秀淨(法専寺住職)、の野慶子、松本誠、池田裕子、矢田立郎、坂井良行(高野山真言宗西方院)、三橋理江子、鄭恵姫、石巻祥心会、宍戸義光、中道澄春、山下妙子、「小さくされた人々のための福音」講座(3)、弓矢健児、加藤賢宗(石巻市淨音寺住職)、福岡真悟、福岡ウイルソン、真宗大谷派仙台教区仏教青年会有志、守屋香代子、鍋島隆、古本泉夫、古本愛子、柳澤豊、高島邦夫、小島千鶴、吉俣正光、内本光一、有川純子、福井重男(2)、福井昌子(2)、鈴木敏夫、徳留由美、土手ゆき子、辻良雄、池田春子、朝日泰治、朝日華子、白瀬小一郎、本田すみ代、舟橋葉子、東垂水ルーテル教会(2)、遠藤トシ江(宮城県石巻市)、森田一生、古川和子、古川直子、阿部純子(宮城県石巻市)、白方誠彌、野添宗英、野添澄、真宗大谷派仙台教区仏教青年会有志、小島千鶴、土手ゆき子、藤丸秀淨(法専寺住職)、辻良雄、東洋ローラ・キリスト伝道教会前橋伝道所、柳澤豊、ホームチャペル・キリストの花嫁、藤丸秀淨(法専寺住職)、日本基督教団芦屋三条教会、遠藤トシ江(宮城県石巻市)、池田春子、大久保和代、金貴順、藤玄洋(朝倉市西宗寺住職)、保田茂、石川満澄、石川久子、楠元留美子、匿名

598,000円

フードパンク関西、鳥取県八頭教会の赤川祥夫牧師からタオルが送付されています。五百井正浩(真宗大谷派玉龍寺住職)理事は神戸市北区の道場町からたくさんのお飲料水、山下寛&弘美ご夫妻がそうめん、河村ひとみ(第62次)さまが事務所にたくさんのお支縁物資もご送付くださいました。チュチュアンナ上田利昭社長から1000足の靴下、松本真祐兄からテント、感謝。

西日本豪雨

水谷弥生、山本桂、岩間千恵子、白方誠彌、久留島琴、上野清次郎、福音伝道教団本庄キリスト教会、神戸聖福教会、白瀬小一郎(2)、オリーブの木キリスト教会、石川満澄、石川久子、廣瀬素子、日本自由メソヂスト葛城キリスト教会、賀内覚太郎、住谷圭造、祐田康庸、酒井彰、酒井久美子、池永タケコ、酒巻美和子、菊池則子、豊島睦子、河村ひとみ、中山圭子、観音寺(三鷹市)、宮坂信章、村上安世、栗原健、島内糸夫、藤丸秀淨(法専寺住職)、の野慶子、松本誠、池田裕子、矢田立郎、坂井良行(高野山真言宗西方院)、三橋理江子、鄭恵姫、石巻祥心会、宍戸義光、中道澄春、神戸キリスト教書店、高橋一正(2)、「小さくされた人々のための福音」講座(2)、弓矢健児、池田春子、加藤賢宗(石巻市淨音寺住職)、福岡真悟、福岡ウイルソン、真宗大谷派仙台教区仏教青年会有志、小島千鶴、柳澤豊、土手ゆき子、辻良雄、朝日泰治、朝日華子、東垂水ルーテル教会、東洋ローラ・キリスト伝道教会前橋伝道所、遠藤トシ江(宮城県石巻市)、藤玄洋(朝倉市西宗寺住職)、708,961円

匿名

北海道

岩村義雄、神戸国際キリスト教会、オオハタナオユキ(2)、植地優子、白瀬小一郎、本田すみ代、神戸聖福教会、内田周作、舟橋葉子、東垂水ルーテル教会、忠内一由、忠内有紀、久留島琴(2)、遠藤トシ江(宮城県石巻市)、廣瀬素子、古川和子、古川直子、森田一生、高橋一正、「小さくされた人々のための福音」講座、白方誠彌、日本基督教団芦屋三条教会、オリーブの木キリスト教会、匿名

735,600円

力ヨ子基金

植地優子、岩間千恵子、白方誠彌、辻良雄、有限会社吉田興行、吉田明、豊島睦子、宮坂信章、の野慶子、池田裕子、鄭恵姫、守屋香代子(2)、山本桂、祐田康庸、福岡真悟、福岡ウイルソン、山下妙子、高橋一正(3)、真宗大谷派仙台教区仏教青年会有志、古本泉夫、古本愛子、高島邦夫、「小さくされた人々のための福音」講座(2)、柳澤豊、野添宗英、野添澄、大久保和代、藤丸秀淨(法専寺住職)、745,200円

194,635円

インドネシア地震・津波

岩村義雄、神戸国際キリスト教会、辻良雄、白瀬小一郎、水谷弥生、忠内一由、忠内有紀、藤丸秀淨(法専寺住職)、ホームチャペル・キリストの花嫁、野添宗英、野添澄、金貴順、神戸聖福教会、高橋一正、楠元留美子、石川満澄、石川久子、「小さくされた人々のための福音」講座

194,635円

救援金 松末(ますえ)、西日本、北海道、インドネシア、シリアなど地域、国を郵便振替用紙の余白にお書きください。